

のうぎょうようすいすいげんちいきほぜんじぎょう

農業用水水源地域保全事業

森林には、どんな働きがあるの？



米や野菜を作るために必要な農業用水は、たくさんのお木を植え、育てる森林を必要とします。私たちが健康で過ごすために食べる農産物が、農家の人たちによって不足しないように作り出されるために水は欠かすことができません。また、森林は私たちが生きていく上で大切な自然環境を守る役割も持っています。例えば、土砂崩れを防いだり、二酸化炭素を減らし、地球の気温が高くなる事を防いだりします。この事業では、私たちにとって大切な森林を守るために森林の学校等の体験学習会を開催することや、植樹や森林の手入れなどを行ったりします。また、森林によって生み出された水が下流の人たちに大切に使われ、森林の大切さを理解してもらうことを行います。

水源地域の森林について

森林は生活用水だけでなく、良質な農業用水を安定的に供給しています。

現在、熊本県の森林は人工林を中心に着実に成熟しており、収穫すべき段階を迎えています。しかしながら、林業担い手の減少及び高齢化、木材価格の低迷により、下刈り、枝打ち及び間伐等の手入れがなされない荒れた森林や、伐採後に植栽が行われない森林が増加しています。

森林が良質な農業用水を持続的に供給していくためには、適切に下刈り、枝打ち及び間伐を実施し、伐採跡地へ確実に植栽することが必要です。

